

平成30年度 家庭科 3学年 年間指導計画・評価計画

1. 教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通じて、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2. 評価の観点及びその趣旨

【生活や技術への関心・意欲・態度】

衣食住や家族の生活などについて関心を持ち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。

【生活を工夫し創造する能力】

衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造している。

【生活の技能】

生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。

【生活や技術についての知識・理解】

家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

3. 3学年の目標

- ①家庭や家族の機能、家庭生活と地域とのかかわりを知り、家族関係をよりよくする工夫をすることができる。
- ②幼児の発達と生活、家族の役割や遊びについて理解する。また、幼児の生活に役立つ物の製作を通して、幼児との関わり方を考えることができる。
- ③3年間の学習を振り返り、将来への展望につなげようと思えることができる。

4. 指導計画・評価計画

		観点・評価規準				評価場面(方法)
月	指導内容	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	
4	【ともに生きるわたしたち】(1時間)	・多くの人との関わりの中で成長してきたことに気づく。				・授業に対する取り組み ・プリント
5	【わたしたちの成長と家族】(12時間)	①自分の成長と家族と家庭生活とのかかわりについて、関心を持って学習活動に取り組もうとしている。 ②幼児に関心を持ち、幼児の観察や手作りおもちゃの製作に取り組もうとする。 ③幼児の遊びや遊び道具、遊びと発達のかかわりについて考えようとする。	①用事の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫する。	①幼児の幼児の心身の発達に応じた絵本の制作ができる。	①幼児の遊びの意義について理解することができる。	・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表 ・制作記録表 ・作品 ・定期テスト
6	(1)幼いころってどんなだったろう					
7	(2)幼児の生活と遊びを知ろう ・遊びで育つ能力 ・フェルトを使った手作りおもちゃの制作					
9	(3)幼児の心身の発達の特徴を知ろう ・体、心の発達 ・情緒、社会性、ことばの発達 ・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣					
10	(4)子どもにとっての家族を考えよう	①幼児の個性に関心を持ち、一般的な心身の発達の特徴を知ろうとしている。	①幼児が生活習慣を身につけるのを助ける工夫を考えられる。	①自分の生活や設定場面を通して、家族関係をよりよくする方法を考え、実践できる。	①幼児の心身の発達について理解している。 ②幼児の発達を支える家族の役割について理解する。	・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表 ・定期テスト ・小テスト
11						
12						
1	【これからのわたしと家族】(3.5時間)	・家族とのかかわりや子どものための権利、法律などに関心を持ち、顔とく関係をよりよくするためにはどうしたらよいかを考えようとしている。	これからの自分と家族のかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくしようと工夫している。		①家庭生活と地域社会とのつながりを理解している。 ②家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを説明	・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表 ・小テスト
2	(1)中学生と家族のかかわり					
3	(2)これからの家族とのかかわり					
	【これからの自分と家族の関わり】(1時間)	・衣食住や家族の生活などについて関心を持ち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。				・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表
	・3年間の学習を振り返り将来への展望につなげよう					